

2025(令和7)年度GT自治会 定例会(第10回)

日時: 2026(令和8)年1月24日(土) 19:00 ~21:15  
場所: GT集会室  
出席者: 以下 理事:9 軒(10名)(◎は2名出席)、理事以外:1名

(会長) 12-5 鎌田	○	(消費生活) 3-3 田沼	○
(副会長) 14-4 門馬	○	(環境事業) 9-4 大久保	○
(会計) 5-2 小松	○	(明るい選挙) 15-4 丸山	○
(事務局) 15-3 宮内	◎	(防災防犯) 16-2 杉野	○
(事務局) 16-1 原	○	(AED/防災) 8-6 熊谷	○

1月25日(日)の防災訓練にご協力いただき、ありがとうございました。  
安否確認訓練(タオル掛け)には多くの方に参加いただき、迅速な救護につながる手応えを感じられる良い機会となりました。  
また、発電設備や担架の使い方、トイレ用凝固剤の実験などについて、皆様から多くのご質問・ご意見をいただき感謝しております。  
今後の活動にも活かしてまいります。  
焼き芋を囲んでの交流も楽しい時間となりました。ありがとうございました。

## 1. 報告事項

### ①2025年度 理事の対外活動

- 1/15(木) 18:00~19:30 公田小 地域防災拠点運営委員会(熊谷出席)
- 1/21(水) 10:00~12:00 SAKAESTA 消費生活推進委員(田沼出席)
- 1/24(土) 16:00~17:30 SAKAESTA 本中連会長定例会議(鎌田出席)

### ②本中連定例会の概要

- 防災フォーラムのまとめ
- 来年度ミニリンピック5月17日(日)に決定

### ③民生委員について

- 17-2 吉田様が民生委員を引き受けてくださいました(25年12月に委嘱されました)

### ④防災訓練で実施した内容・・・皆様から頂いたご意見は(別紙)を参照ください

- (1)安否確認訓練(放送、タオル掛け、安否確認)
- (2)ポリ袋調理体験、備蓄食の紹介

- (3)トイレに関するブース（トイレ用テント紹介、凝固剤の実験）
- (4)発電設備に関するブース（ソーラー発電機、ガソリン発電機）
- (5)担架ブース（簡易担架、座位担架、通常担架）・・・担架運搬の体験
- (6)車いす昇降補助具の実演
- (7)お楽しみ会・・・焼き芋、インスタント豚汁、暖かい飲み物、ポリ袋調理で作った「おにぎり」

## ⑤その他

- ・例年と同じく、赤い羽根募金を行いました
- ・1月28～30日に土木事務所により樹木の剪定が行われた  
（配送業者の車が枝葉にぶつかるなどの問題があり、土木事務所へ公園内の木の剪定を依頼した件）
- ・消火器の購入・廃棄の件、全て完了

## 2. 議事

### ① 防災訓練の準備

- ・自治会理事の役割分担、流れの確認

### ②自治会部で管理している倉庫保管品（防災用品・備蓄食料品含む）について

- ・使用期限切れ、在庫なしのもの、新たに必要となるもの等の購入検討を行った・・・継続検討とする

### ③自治会活動に対するアンケートについて

- ・アンケート内容や方法について検討

※自治会の今年度の活動を振り返り、住民の方々からご意見を頂き、今後の改善に役立てるため

### ④令和8年度（次年度）自治会部理事について

- ・管理組合からお知らせのあった候補10名の方への引継ぎの日時を決定（1/27に案内済み）  
2/28(土)17:00～集会室にて

### ・次回定例会

2/28（土）16:00～集会室  
17:00～次期理事との引き継ぎ業務

## (別紙) 防災訓練で皆様から頂いたご意見など

### ① 放送・安否確認に関する意見

- ・ 階段下からの放送の方が聞こえやすいという声が多かった。
- ・ テレビ視聴中は聞こえづらい、内容が分かりにくいとの指摘。
- ・ タオル掛けは半数以上が実施し、浸透していると感じられた。
- ・ 150戸の確認は1人で20分で可能で、複数人なら迅速な救護が可能。

### ② 備蓄品・装備に関する意見

- ・ レスキューシート（水色担架）の購入希望が複数あった。
- ・ 小型車椅子の必要性を感じた住民がいた。
- ・ トイレテントはよりしっかりしたものが望ましいとの意見。
- ・ トイレ便座を複数備えてほしいとの要望。
- ・ 備蓄食に甘いもの（羊羹など）や保温アルミシートを求める声。
- ・ さつまいもを備蓄してほしいというユニークな意見も。
- ・ 自治会備蓄には限界があり、個人備蓄の必要性が強調された。

### ③ 訓練内容・運営に関する意見

- ・ 搬送訓練や発電機操作など、実演を増やしてほしいとの声。
- ・ 火を使う際の風対策が必要。
- ・ 温かい飲み物の提供が好評で、寒い時期の訓練に効果的だった。
- ・ 平らな担架は怖いという意見があり、改善の余地がある。
- ・ 説明が分かりやすく、後方でも声がよく通っていた。

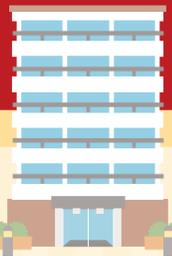
### ④ 交流・参加状況に関する意見

- ・ 軽食とテーブル椅子により、幅広い年代が交流できた。
- ・ 豚汁や焼き芋が不足し、配布量の調整が課題。
- ・ 多くの住民が積極的に参加し、好意的な反応が多かった。
- ・ 民生委員との交流ができ、地域連携の機会になった。
- ・ 全体的に楽しく参加できたという感想が多かった。

### ⑤ 在宅避難・個人備蓄に関する意見

- ・ 住戸分の避難テント準備は自治会では不可能と実感。
  - ・ 在宅避難の可否に関わらず、個人備蓄の重要性が強調された。
  - ・ 「在宅避難」リーフレットの活用を促す声があった。
    - ・ . . . 次項に添付します。集会室にも数部 置いてあります。
- 以下のホームページに行くと Youtube も見れます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/moshimo/wagaya/default20230904.html>



# マンションならではの防災対策

災害時も日常に近い生活を送るために

## マンションに住む人は？ 3つの注意点

### 注意点1 水の確保

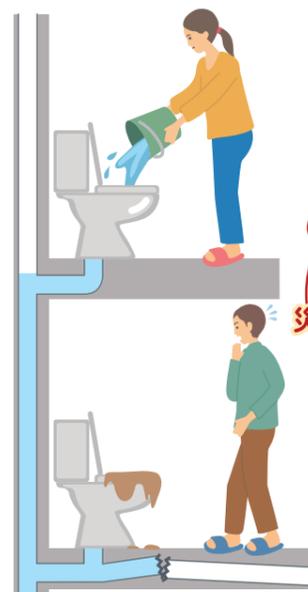


#### POINT

水や食料を多めに備蓄する

停電でエレベーターが停止した場合、水などの重いものを上層階まで運ぶのは大変です。日頃の備えを欠かさないう心がけましょう。

### 注意点2 トイレの水



#### POINT

住民同士で災害時のトイレ使用ルールを決める

上層階での排水が下層階で溢れる可能性があります。排水管の安全が確認できるまでは、トイレパックを使いましょう。

### 注意点3 居住者同士で助け合える関係づくり

エレベーターに閉じ込められたり、倒れた家具に挟まれて怪我をしている人がいるかもしれません。高齢者、障害がある方などの要配慮者の方もいます。いざという時に助け合える関係をつくるため、日頃からのあいさつなどで顔の見える関係づくりをこころがけましょう。



#### POINT

日常的な交流やコミュニティ形成が大切

## 横浜市

# 在宅避難

### 在宅避難のメリット

自宅が安全であれば、在宅避難の方がふだんの生活に近い環境で過ごせます。

プライバシーが守られる



好みに合った備蓄品で生活できる



生活スペースを確保できる



ペットとはいつもどおりの生活ができる



在宅避難の場合でも... マンションでも戸建てでも地域とのつながりを持つことは大切です。日頃から地域の防災訓練等に参加し、協力し合える関係を築きましょう。

その他防災情報を確認しましょう!

防災ベッド等設置推進事業



よこはま防災力向上マンション認定制度



防災よこはま





# 在宅避難の準備の基本!

# 自宅の備えを確認しよう!!



建物の耐震化も大切です

大地震から家屋の大きな損傷を防ぎ、自らの生命を守るため、建物の耐震化も検討しましょう。



建物の耐震化支援

## 備蓄は『最低3日分、できれば1週間分』

### 備蓄はローリングストック法で!!

消費期限に合わせて定期的に古いものから消費し、消費した分を補充するという循環型の備蓄方法です。



### ● 飲料水・食料品

- 飲料水 (1人1日3ℓ×家族の人数)
- 食料品 (缶詰、レトルト食品、フリーズドライ食品など)



### ● 日用品

- トイレトペーパー
- ウェットティッシュ
- トイレパック
- ポリ袋
- 水のいないシャンプー
- 歯磨きセット
- タオル類
- 生理用品
- 救急セット
- 常備薬
- カイロ
- ラップ
- カセットコンロ
- カセットボンベ
- LED ランタン
- 携帯ラジオ
- モバイルバッテリー
- 乾電池



### ● 乳幼児のいる家庭の備え

- 紙おむつ
- おしりふき
- おやつ
- 哺乳瓶
- 哺乳瓶消毒グッズ
- 粉ミルク、液体ミルク
- 離乳食



お湯を沸かす必要のない液体ミルクがあると便利です。

### ● 要介護者のいる家庭の備え

- 介護食
- 補助具などの予備
- 大人用紙おむつ

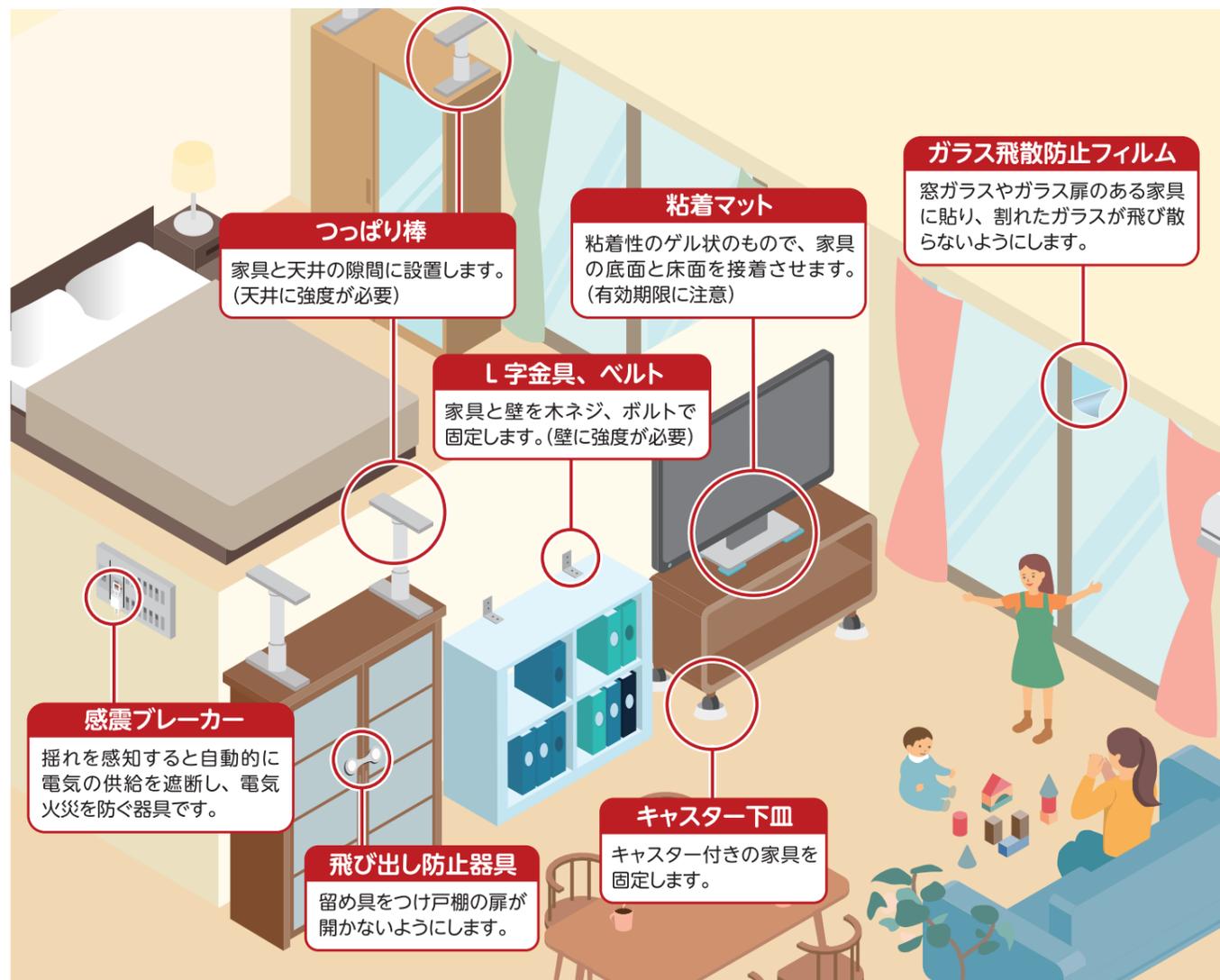
### ● ペットのいる家庭の備え

- ペットフード
- ペット用トイレシート
- ケージ



## 災害に強い家に!

家が倒壊しなくても、家具が倒れたり、ガラスが割れたりすると、在宅避難の妨げとなります。家の中の対策をしっかりと行い、安全に在宅避難ができる環境を整えましょう。



## 特に重要

大地震では、電気・ガスや水が止まったり、トイレの水を流せなくなるおそれがあります。そうした場合でも、安心して自宅で過ごせるよう、次の物を備えておきましょう。

### 水

1人3日分、9リットルが目安です。家族分準備しましょう。



### モバイルバッテリー

災害時、停電が起きても、スマホ等を充電することができます。



### カセットコンロ

停電やガスが止まっても温かい調理ができます。

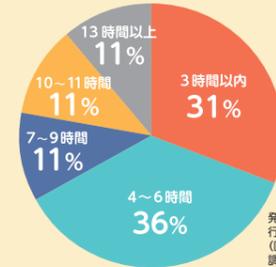


### トイレパック

1人1日5回×3日分の15個が目安です。



## トイレは我慢できません!



発災から何時間でトイレに行きたくなったのか (回答: 36人) 調査: 日本トイレ研究所

東日本大震災では発災から3時間以内に3割の人がトイレに行きたくなったという調査結果もありました。災害時に困らないためにも、トイレパックの備えをしましょう。

## 日常的なものが災害時にも使える!

普段身の周りにあるものを、災害時に役立てることができます。例えば…カップ麺、レトルト食品、缶詰、キャンプ用品など。自宅にあるもので災害時に役立つようなものがないか確認してみましょう。

